

視察用

様式(細則 5-2)

平成 年 月 日

浜田市議会議長
川 神 裕 司 様

議員名 川神 裕司



調査研究活動報告書

下記のとおり調査研究のため視察等を行ったので、その結果を報告します。

記

1. 期 間 平成30年5月9日(月)～平成30年5月11日(水)
2. 視察先および研修テーマ
 - (1) 場所 栃木県佐野市 佐野市役所
内容 特定非営利活動法人エコロジーオンライン
 - ① 認知症ケアの取組について
「オトトカラダ」プロジェクト
 - ② カラフルファームの取組について
 - (2) 場所 埼玉県横瀬町 横瀬町役場
内容 官民連携のまちづくり「よこらぼ」について
3. 参加者 川上幾雄、永見利久、串崎利行、上野茂
田畑敬二、西田清久、澁谷幹雄、川神裕司
4. 調査経費 389,220円/8人=48,652円



5. 調査研究活動の概要

1. 特定非営利活動法人エコロジーオンライン

理事長：上岡裕 事務局長：上岡七生美

エコロジーオンライングループは、実践を通して、音楽、アート、エンターテインメントなど、様々なコンテンツを医療、介護、まちづくりの現場に届ける取り組みをしている。

① 認知症ケアの取組について

「オトトカラダ」プロジェクト

NPO 法人エコロジーオンライン上岡理事長は、アメリカから始まった認知症ケアの取組の活動「Music&Memory」を追ったドキュメンタリー映画「パーソナルソング」を見て感銘を受け全国で映画上映を呼びかけた。その後このアメリカでの活動をベースにこのプロジェクトを開始した。認知症の患者さんに昔好きだった音楽を携帯型音楽プレーヤーで聴いてもらい、心や身体を少しずつ活発化させていくプログラムで現在医療法人の協力の元、パイロット事業として全国へ徐々に波及している。

② カラフルファームの取組について

栃木県佐野市をホームタウンとした農業法人で切花のトルコギキョウを栽培。障がいを持った方や高齢者の方など働く人もカラフルで楽しいソーシャルファームとして精力的に活動している。

所感

浜田市は現在高齢化率 36%を超え長寿社会を迎えています。その中で大きな問題として私たちに迫りくるものは「高齢者単身世帯」「認知症患者」の増加と認識しています。特に認知症対策としては当市も精力的に予防活動に努めていますが、十分な成果が出ているかは疑問です。そのような中でこのプロジェクトは非常に興味深く試行するに値すると感じました。介護保険計画の観点からも導入検討を進めるべきです。

2. 官民連携のまちづくり「よこらぼ」について

説明者：富田能成（横瀬町長） 他、執行部・議会関係者

人口 8,500 人の小さな町だが最近クリエイターが頻繁に通う町になっている。最近始めた官民連携プラットフォーム「よこらぼ」の事業としてクリエイター達が講師となり中学生にキャリア教育する「横瀬クリエイティビティークラス」続けられているかららしい。「よこらぼ」とは横瀬町とコラボするラボ(研究所)という意味。企業などからの提案を受けて町が持つ資源を共同で有効活用するという仕組みで、すでに 22 件の「よこらぼ」事業が始動。自治体版シェアリングエコノミーの試みといえる。

所感

町長が熱弁したのは「横瀬町人口ビジョン」として「人口減少に耐え、備える」が大命題! 私たちはこの町の「官民連携プラットフォーム」よこらぼの多くの社会実験、実証実験を積極的に受け入れる自治体の取り組み姿勢に浜田市にはない魅力を感じました。わずかな地域資源を活用し多くの企業に対して共同研究を実行。その取組をメディアが取材。相乗効果で予想を超える研究案件の質・量が確保されたとのことだが、当市においては農業体験シェア、遊休スペースシェア等による稼ぐ機会の創出が期待できる戦略として素晴らしい取組と実感。地政学的に決して都会とアクセスが良いわけではない投資として、都市部からヒト・モノ・カネ・情報が低コストで得られる取組としても今後検討する価値が大きいと感じた。